

# ネクスト香川「EMC講習会」開催報告



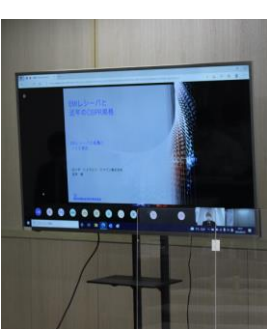

## ◇EMIレシーバとCISPR規格およびノイズ対策用測定器◇

かがわ EMC 技術研究会(事務局:公益財団法人かがわ産業支援財団内)では、毎年実施しているネクスト香川の「EMC講習会」を下記のとおり開催しました。本会は県内企業のEMC技術の向上を目的として講演会を毎年上期と下期の年2回開催しており(令和2、3年度は下期のみ)、EMCに携わる技術者やEMCに興味を持たれている方々など、多数ご参加いただいています。

今回は、ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社 吉本 修氏から、EMIレシーバと近年のCISPR規格並びにノイズ対策のための測定器についてご講演いただくと共に、「かがわ EMC 技術研究会」の古賀会長には、電気回路理論及び電磁気学について分かり易く解説いただきました。今回の参加者は、県内の会員企業を中心に行政機関や高等専門学校の関係者ほか、聴講を希望される県外企業を含め、24名(会場参加10名、オンライン参加14名)の参加があり、盛況の内に無事終了することができました。

- 開催日時 令和4年2月24日(木) 13:30~16:50
- 会場 香川産業頭脳化センタービル (〒761-0301 高松市林町 2217 番地 15)  
会場:2階「一般研修室」
- 主催 かがわEMC技術研究会(会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治)
- 後援 香川県

### ■ 内 容

<p><b>開会挨拶</b> 公益財団法人かがわ産業支援財団 理事長 安松 延朗</p>	
<p>「EMC講習会」にご参加をいただき、誠にありがとうございます。近年、様々な分野で電波利用が拡大するに伴い、EMCの要求が強く求められています。「かがわEMC技術研究会」は発足して9年目を迎え、約40社の県内会員企業の皆様をはじめ、試験研究機関などに参画いただいております。今後とも、最新のEMC技術の情報発信や課題解決に取り組むたいと挨拶されました。</p>	<p>挨拶する安松理事長</p>
<p><b>講演1 いろいろあって困る EMI 理論【リモート出演】</b> かがわ EMC 技術研究会 会長岡山大学名誉教授 古賀 隆治氏</p>	
<p>理論の最初にあるのはモデルであり、現象を観察し”洞察”によって作り出される。モデルに基づいて理論が展開され、現象が予測される。モデルの差違は、現象をどの程度精密に認識するかによって生まれる。電気回路理論は、電磁気現象の一部だけを取り出してモデル化している。電気回路理論では対象にしない電磁気現象があり、これが EMC の問題であると、解説された。</p>	<p>古賀会長</p>
<p><b>講演2 EMIレシーバと近年の CISPR 規格【リモート出演】</b> ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社 EMC Solution Manager 吉本 修氏</p>	
<p>EMIレシーバは、その性能が国際規格 CISPR にて定められており、無線を使った放送や通信へのノイズの影響を定量的に評価するために用いられている。その規格成立の歴史と最新の FFT レシーバなどトピックを紹介された。</p>	<p>吉本氏講演画面</p>
<p><b>講演3 ノイズ対策のための測定器【リモート出演】</b> ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社 EMC Solution Manager 吉本 修氏</p>	
<p>設計開発の現場において、ノイズ対策を行うための広帯域ノイズ、狭帯域ノイズの発生原因の考え方、タイムドメイン機能を用いたケーブル断線確認、シールド効果の簡易評価、オシロスコープ FFT のノイズ測定例など、計測例をご紹介された。</p>	<p>吉本氏講演画面</p>